

陽だまり

No.2
2023.8月
(隔月発行)

陽だまり 宗教2世支援ニュースレター



陽だまり特別**セミナー**報告

宗教2世問題—どのように**対応**するか

INDEX

- 「宗教2世問題—どのように対応するか」
陽だまり特別セミナー報告 2
- シリーズ：宗教2世支援のあり方 ②
～ 宗教2世問題のタイムラグという課題 . . . 3
- 「陽だまりオンライン会」について 4
- 陽だまりプチオフ会 5
- 相談の概況と相談員の声 6
- クラウドファンディング達成の御礼 . . . 7
- Infomation 8
- 当事者の声 募集 8
- サポーター募集 8
- 編集後記 8

「宗教2世問題—どのように**対応**するか」

陽だまり特別**セミナー**報告



I. 当事者視点から見た宗教2世問題

「宗教2世」という言葉をめぐる議論や各分野の専門家や調査機関がどのように「宗教2世問題」をとらえてきたかを紹介した後、

実際に宗教2世当事者間で行われている自助グループなどで聞かれる生の声として、

①「生きづらさ」のグラデーションの広さと複雑さ、②ハッキリとした答えがなく、常にモヤモヤ葛藤が続いている現状、③一般の方に理解しにくい深い孤独・孤立感や後遺症があることなどを紹介しています。

このような現状の中、宗教2世当事者の「苦しみ」を理解してくれる、相談窓口や自助グループの存在がますます重要で、誰からも否定されずに安心安全に自分の体験を語れる場所は、当事者の孤独・孤立感の解消にとって有効なのではないかと提言し、これらの取り組みを通じて将来的には、宗教2世以外の生きづらさを抱えている方々にも、役に立てる取り組みになるのではないかと展望を述べています。



II. 現場から見た宗教2世支援という課題

今年3月から始まった当法人の具体的な活動を説明しました。文章や口頭での相談活動、自助会・オフ会などのネットワーク構築について紹介しています。

この後、支援活動から見える宗教2世について実際の相談のデータから、解説しました。宗教2世の中心が団塊以降の世代の親を持つ子どもたちであることを明らかにし、それらの人々の課題について、頻度の高い相談内容から説明しています。

次に支援の際の視点について、実際の経験から説明しました。まず、宗教2世の問題が単体の課題だけを見ればよいものではなく、複合問題であること、さらにそれら課題解決のためにどの部分を見なければならぬかを具体的に解説しています。

最後に支援に当たって注意すべき事柄について、今まで相談者から聞いたことを中心に述べています。



詳細は、公式サイト「活動レポート」内 [資料室](#)の 補足資料 [①](#) [②](#)

(◀QRコード) または 動画 [①](#) [②](#) (QRコード▶) をご覧ください。



シリーズ: 宗教2世支援のあり方②

～ 宗教2世問題の**タイムラグ**という課題

当法人は3月5日、「宗教2世支援－どうあるべきか」というパネルディスカッションを開催し、旧統一教会・エホバの証人・創価学会・その他の背景を持つパネリストと等身大でリアルな「宗教2世」への支援について考えました。その様子を4回のシリーズで紹介していきます。第二回目のテーマは「宗教2世問題の**タイムラグ**という課題」について――



陽だまりの相談の現場では、「宗教2世」に関する報道内容のような相談が多く来るわけではありません。その要因の一つは、宗教2世問題が相談の現場に来るまでに**タイムラグ**があるからです。そのあたりの認識をそれぞれの実体験を踏まえて話し合い、以下のような所感や見解が出ました。

『一般社会はサタンの世で交わってはいけないという教えから、社会生活上のスキルが育たず、脱会后、社会に出た後は過去に蓋をし、カモフラージュして生きてきて、後から、過去の親の虐待や学校でのいじめによる複雑なPTSDの後遺症が出てきました。教団から出た直後に、理解してくれる支援者と繋がることができたらよかったのにとと思います。』

『私は大学の一般教養で日本国憲法を学んではじめて、基本的人権…信教の自由や幸福追求権、婚姻の自由などを学び、そこで自分

権利侵害されているということをようやく意識できましたが、ここで声をあげられるわけではなく、教団や親から逃げるのが目下の最優先になり、さらにサバイバルの道が待っていました。小学校の時点で基本的人権を学んだり、弁護士の出前授業などで法教育に関して学べたらよかったのにとと思います。』

『渦中にいる幼い時は自己形成が未熟で、違和感や苦しみを言語化できず、組織を出て様々な情報に触れて、やっと言語化できることが多いように思います。また自身の過去の意味付けは一定ではなく、語る現在の状態において変化するもので、支援という立場では、当事者の語る過去のストーリーのみではなく、その方の現在のスタンスや家庭・社会的状況なども考慮する必要があると思います。』

宗教2世の支援においては、**タイムラグ**は**当然あるもの**として捉え、タイムラグにより傷つけられた心や経済的なダメージという喫緊の課題をいかに支援していくかを考える必要があるでしょう。



この詳細は、公式サイト「活動レポート」内 資料室の [テキスト](#)

(◀QRコード) または公式YouTube [動画](#) (QRコード▶) をご覧ください。



「陽だまりオンライン会」について 自助支援グループ ちざわりん



【陽だまりオンライン会の目的について】

宗教2世当事者が抱えているストレスやトラウマ（宗教被害）は、一般社会の人には、なかなか理解できない問題で、それゆえ、孤独・孤立に陥りがちな傾向が見られています。そのような状況の中で、当事者同士が安心安全な環境の中で、それぞれが抱え込んだ問題意識を、仲間同士で語り合い、ともに問題を掘り下げ、生きやすくなるためのヒントを発見できるような場が必要なのではないか、という思いから、オンラインで自助グループ「陽だまりオンライン会」を企画し、現在試験運用をしています。

【実施方法について】

基本的には「参加者たちが作り上げる自助グループ」で、司会者（1～2人）と参加者（5～8人）で行われる、Zoom等を活用したオンラインの自助グループの場を設定し、以下のグランドルール（抜粋）のもと開催しています。

- ①参加者ひとりずつが「共同研究テーマとして提案したい生きづらさ」を交えて自己紹介をする。
- ②カウンセリングや診察ではないので、自分が話したくないことは話題にしない。
- ③各参加者は、ほかの参加者の問題や問題意識を、共感をこめて傾聴する。
- ④みんなが「当事者」として参加する。
- ⑤会合中に聞いた他の人の個人情報、何も持ち帰らない。
- ⑥疲れたとき、つらくなった時は、自由にその場を離れる。そのまま退出するのも、しばらくして戻ってくるのも自由。
- ⑦発言のパスはいつでもできる。特定の人が話し過ぎている場合は、司会者が介入することもある。
- ⑧会合中は、「上から目線」「マウンティング」「決めつけ」を避ける。
(横道誠氏が開催している「宗教2世の会」のやり方を参考にしています。)

【今後の展開】

まだ試験運用中なので、一般的な募集はしていませんが、宗教2世当事者の方々にとって、オンライン上で安心安全な場になれるように試行錯誤を繰り返し、活動の幅を広げていきたいと考えております。

陽だまりプチ オフ会

in 東京 / 大阪

In 東京



東京でのオフ会は、陽だまりとしての初めてのオフ会でした。準備は本当にゼロからのスタートで、告知方法にも悩みながら相談して頂いた方々にお知らせをお伝えしたり、色々な方に手伝って頂きながら、なんとか無事に終わることができました。

当日はすごく楽しい雰囲気の中、参加者がゆったりとそれぞれの背景や、他ではなかなか話にくい事を安心して語り合う様子が見られて本当に良かったです。

In 大阪

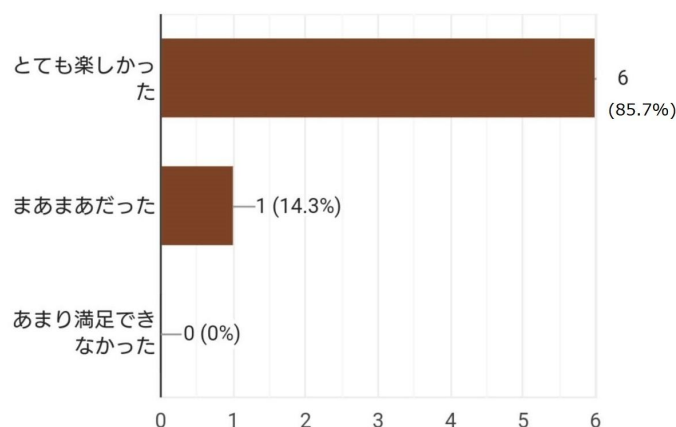


大阪でのオフ会は、参加者それぞれが食べ物を持ち寄り、シェアしてワイワイ楽しむ方法で行いました。さまざまな宗教団体に属していた2世たちが集まり、あれこれ語り合えました。

属していた団体がそれぞれ異なっても、宗教絡みのエピソードや体験は共感できるところが非常に多く、実際に会って、一緒に何かを食べて飲んで語り合うというのは、オンラインでの会とはまた違う良さを感じました。

アンケートと今後の方針

ご満足されるものでしたか？



陽だまりでは、良い会になるようにオフ会ごとにアンケートを行っています。今までの会の中で「とても楽しかった」というご意見を85%の方に頂く事ができ、また「同じ境遇の方とお話することで不安が和らいだ」というご意見や「整理出来ていると思っていたが、他の人の話を聞くと楽になっていないと思った。もっと早く出会えていたら」と寄せて頂き、企画した者として少しだけですが助けにされたことを嬉しく思っています。

また色々な方のお話を伺い、自分自身はどうかを問いかける機会にもなりました。

この先東京と大阪だけでなく、皆さんの**お近くの場所でオフ会を行う事**を目指しております。まだまだ不慣れな点もございますが、安心して語り合える会になるようにメンバー一同より一層尽力してまいりますので、よろしければご参加お待ちしております。

陽だまりに寄せられた相談の概況と

相談員の声



概況

3月開始から7月までで累計180件、1日当たり約1.2件のご相談を受けています。

相談者の内訳は、**宗教2世当事者**が最も多く約65%程度、3世は18%程度です。

年代の内訳は、**30代**が一番多く、続いて40代、20代の順です。

相談者が所属している（いた）団体の割合は、5月末時点の集計とほぼ変わりなく、**エホバの証人**が41.2%、**創価学会**が21%、**旧統一教会(家庭連合)**が11%です。その他の団体からの相談もありますが、この3団体からの相談は、その他の団体の相談件数を大きく引き離しています。

相談内容は「**家族の悩み**」が引き続き一番多く、次に「**メンタルの不調**」です。以下はだいたい同数で「人間関係」「自分のことを聞いてほしい」「仕事や経済の状況」の内容などです。

さまざまな状況のご相談に柔軟に対応できるよう、相談員も**情報交換**や対応の**ロールプレイ**などを通して研鑽しております。

話を受け止めたい 相談員・理事 高橋

私は宗教2世です。離れて8年ほど経ちます。相談者の話を聞いていると、自分も同様の感情を抱いていたということに度々出逢います。そのような時、気をつけているのは、自分と相談者さんは、違う人間であるということです。わかったつもりになるのではなく、相談者にとって、理解してくれる人であるよう意識しています。わからないことなどは他の相談員に確認し、正確な返事ができるようにしています。簡単に解決できることばかりではありませんが、今後もしっかりお話を受け止めて参ります。

気持ちを吐き出して 相談員 立山

自分が今で言う「宗教2世」であることから、脱会後も自分の状況と戦いながら、未来に不安しかなく、苦しい日々を過ごしていました。なんとか今は状況を整理でき、前向きに生きていける状況になりました。同じように今苦しんでおられる宗教2世の皆様のお力になればと相談活動に加わっています。第三者に頷きながら話を聞いてもらえるだけでスッキリする部分もありますし、他の人に自分の気持ちを言葉にして表現することで気持ちが楽になることも、今まで色々な方に教えていただきました。同じように相談者の方に寄り添い、気持ちを吐き出していただくことを大切にして、相談活動に携わっていきたいと思っています。

クラウドファンディング達成の御礼

今後の方針について



7月30日23時に、当法人のクラウドファンディングは第1目標の300万円を超える332万円でフィニッシュしました。

ご支援いただきました人数は303人と非常に多くの方にご協力いただきました。本当にありがとうございます。また、応援メッセージや声援、さらに告知や拡散をしていただいた方々のお力があればこそと深く感謝しております。

第1目標を到達したということで、以下の内容を実施できればと思います。なお、クラウドファンディングが支払われるのは9月になりますので、実際にクラウドファンディングをもとにした活動は9月以降になります。

①事務所と相談施設の開設費用：約150万円

現在は理事長の自宅への仮住まいという形で事務運営をしておりますが、正式な事務所を開設したいと思います。9月、10月にはまず物件を探し、11月、12月に事務所移転ができればと思います。

この事務所に併設する形で相談室も設けたいと思っております。相談室のイメージは左の図のとおりです。

②広報・広告費用：約30万円

特に印刷や送料のかかるところの費用として考えております。さらに制作費・広告費などもかかる場合もありますので、これら費用を活用してより広く、多くの方に宗教2世問題について知っていただくと同時に、今問題に直面する宗教2世のもとに我々の存在を知っていただくようにしてまいります。

③セミナー事業の実施費用：約30万円

④自助グループの設置費用：約30万円

⑤交流会の実施費用：約30万円

外部への情報発信のため、また宗教2世の自助支援や交流促進のため、これら費用を考えています。

⑥宗教2世の情報収集・分析活動とその成果の社会還元（WEBや出版物の発行費用）：約30万円

資料購入や印刷費用などに活用したいと思っております。その一つとして「支援者のための宗教2世支援マニュアルー基礎編ー」を制作したいと思っております。

これら活動は、継続するものですので、以降もランニングコストは必要になります。引き続き、ご理解と温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



・現在、2世支援の標準化を目指す「[宗教2世支援マニュアル](#)」シリーズの発行を計画しています。シリーズ第一弾「支援者のための宗教2世マニュアル 基礎編」は11月頃にKindleにて一般販売予定！クラウドファンディングのご支援者様にはリターン品としてPDF版をお送りする予定です。

・学校関係者向けに「[宗教2世について知っていますか？一学校で配慮していただきたいこと](#)」と題したA4版4ページのリーフレットを制作しました。[陽だまりの資料室](#)よりどなたでもダウンロードしていただけます。紙印刷をご希望の場合は、100部単位・着払いにて発送いたします。

現在、次号以降のニュースレターに掲載する当事者の声を募集しています。

＜内容＞

宗教2世としてどのようなことを感じたり、どのような支援が欲しかったか、またはどのような支援に救われたか

文字数：250字～270字前後

＜要項＞

- ・採用、不採用、何月号に掲載となるかは未定で基本的に通知はいたしません。
- ・希望のハンドルネームを記載（匿名可能）
- ・所属団体名の付記の有無も問いません。
- ・下記の公式メールまたは X（Twitter）のDMに「当事者の声応募」としてお送りください。

サポーター募集

陽だまりは、応援してくださる皆様からのご寄付により事業を展開しています。

振込先：みずほ銀行 厚木支店（758）
普通 3098717
シヤ）シユウキヨウニセイシエン
センターヒダマリ

※振込人名義の冒頭に「キフ」を付けてください。
また一緒に活動してくれる仲間（会員）も募集しています。入会をご検討される場合は、下記の公式メールよりご連絡ください。
※会員には定款により一定の要件があります。

編集後記

ニュースレター第2号もこうして無事発行することができました。ご協力下さった皆様には感謝いたします。創刊からのこの2ヶ月は、クラウドファンディングに挑戦したこともあり、怒涛のように日々が過ぎていきました。当初、達成は難しいのでは…と不安の中で始まりましたが、このプロジェクトを通して新たに出会えた方々、はたまた忙しくて疎遠になっていた旧友など、本当に様々な方が応援して下さい、この夏の暑さを超えるほど私の胸は熱くなりっぱなしでした。この場を借りて御礼申し上げます。次号のニュースレターは10月発行予定です。お楽しみに。（担当S）

【一般社団法人 宗教2世支援センター陽だまり】

☐TEL 050-3046-6745 ☐E-mail <mailto:info@nisei-hidamari.org>

☐HP <https://nisei-hidamari.org/> ☐Facebook <https://www.facebook.com/niseihidamari>

☐X (Twitter) <https://twitter.com/niseihidamari> ☐Youtube <https://www.youtube.com/@hidamari-2sei>

